

ボランティア募集

福良の町中で空き家になっている民家を利用した手作り水族館の運営を手伝ってくださる方を募集しています。

場所：ギョギョタウン（福良郵便局前の空き家）
内容：見学者・観光客への対応、水槽の掃除などおしゃべりしながら楽しく活動可能！

活動日：毎日（可能な日のみでOK）

問合せ：福良町づくり推進協議会
（福良地区公民館内）TEL 50-3048



チャイルドシート・ベビーカー購入助成事業

南あわじ市在住の6歳未満のお子さんを養育されている保護者を対象として、チャイルドシート・ベビーカーの購入費の一部を助成します。1人のお子さんにつき1回限りご利用いただけます。
※出産後に申請してください。



歩行補助機購入助成事業

南あわじ市在住の65歳以上の高齢者を対象として、歩行補助器の購入費の一部を助成します。1人1回限りご利用いただけます。

※申請期間は、購入日より半年間です。

※申請に当たり、民生委員の証明・領収書が必要になります。

6/1は善意の日

昭和39年、「みんなの小さな善行や善意が重なって、世の中が明るくなるものであり、県民だれもが、この日何か1つ善行をしてもらいたい」との思いから兵庫県では6月1日を「善意の日」としています。みなさま“ちょっといいこと”してみませんか？

善意銀行ってなに？

善意銀行は、「困っている人を助けたい」「地域のために何かできれば」という住民の思い（善意）を預託（金銭・物品等）として受け付け、必要とする方にお届けすることで「善意の心」を地域福祉の推進へとつなげるしくみです。南あわじ市社協では、地域のみなさまからいただいた金銭委託を高齢者支援や子育て支援などを目的に上記の助成を行っています。

詳しくは、お気軽にお問い合わせください。



～ボランティア保険についてのお知らせ～

新型コロナウイルス感染症の第5類感染症移行に伴い、**令和5年5月8日以降**に新型コロナウイルス感染症を発病した場合、**保険料支払いの対象外**となります。

発行 南あわじ市社会福祉協議会 ボランティアセンター
〒656-0122 南あわじ市広田広田 1064
TEL：44-3007 FAX：44-3037
MAIL：info@minamiawaji-shakyo.or.jp

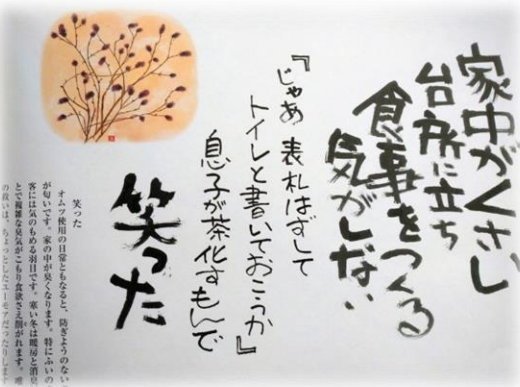




大切な人をいつまでも大好きでいるために



「認知症」という言葉を耳にするようになってから20年近くが経過しました。今や65歳以上の4人に1人が認知症になる時代とも言われています。



「認知症」は、以前は「痴呆」と呼ばれていましたが、痴呆という言葉には、おろかであるという侮辱的な意味合いがあり、当事者に対する威厳やいたわりを欠いた呼び方であると、2004年厚生労働省の「痴呆」に代わる名称を決める検討会で「認知症」に変更しました。また、研究も進み、一般の方々にも周知され知識も広がり、認知症がその人の特徴ではなく病気として認識されるようになり、医療機関では「物忘れ外来」で診察ができるようになりました。

南あわじ市では、在宅介護支援センターの職員などが「認知症サポーター養成講座」を開き、地域の人たちを対象に、認知症の周辺症状（本人の行動や心理状態によって現れる症状）への優しい対応の仕方や、家族だけでなく地域での見守りの大切さを伝えています。



しかし、このように理解が進んだからと言って家族の負担が極端に減少することはありません。そこで介護者は、自分の気持ちを共有できる環境やリラックスした楽しい時間を過ごすことが重要なポイントです。介護する方の心理状況により、介護を要する方の認知症状は大きく変化するからです。

南あわじ市には「認知症を支える家族の会スマイル」という家族会があります。家族の方ももちろん、過去に介護しておられた方、地域で支える方など門戸は常に大きく開いています。地域包括支援センター、在宅介護支援センター、社会福祉協議会も一緒に参加していますので専門的な話もできます。



代表者の森 邦彦さんは自身も長年家族を見てこられた方で、気軽にいろいろな話ができる場となっています。興味のある方は、ぜひ一度足を運んでみてください。お茶を飲みながらゆっくりとした時間を過ごしてみませんか？

参加を心よりお待ちしております。

※南あわじ市 広報いきいき健康広場欄に毎月予定が掲載されています。

★認知症を支える家族の会スマイル★

日時：毎月第2水曜日（原則）14：00～15：00

場所：中央公民館 2階

会費：1,000円/1年

【代表】森

【出典】 認知症者の母とともに

「いっばいごめん いっばいありがとう」

絵・文：岡上 多寿子

作者の方の理解を得て詩の掲載をさせていただきました。